

## 弟子たちの足を洗うキリスト

ヨハネ福音書 13 章 1～15 節

わたしはあなたがたに新しい戒めを与えます。  
互いに愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、  
あなたがたも互いに愛し合いなさい。 ヨハネ 13:34



Christ Washing the Disciples' Feet  
ポッカチオ・ポッカチーノ作

来週はいよいよイースターですね。そして今日から受難週に入ります。ヨハネは、イエスさまが弟子たちと過ごされた「最後の晩餐」の出来事を福音書 13～17 章の 5 章にわたって記しました。その大切な最後の食事の席で、イエスさまは真っ先に弟子たちの足を洗われました。イエスさまは私たちに何を示し、教えられたのでしょうか。思い巡らしてみましよう。

### 1. 彼らを最後まで愛された

“さて、過越の祭りの前のこと、イエスは、この世を去って父のみもとに行く、ご自分の時が来たことを知っておられた。そして、世にいるご自分の者たちを愛してきたイエスは、彼らを最後まで愛された。” ヨハネ 13:1

“食事の席から立ち上がって上着を脱ぎ、手ぬぐいを取って腰にまとわれた。それからたらいに水をくんで弟子たちの足を洗い、腰にまとった手ぬぐいでふき始められた。” ヨハネ 13:4,5

### 2. 後で分かるようになる

“イエスは彼に答えられた。「わたしがしていることは、今は分からなくても、後で分かるようになります。ペテロはイエスに言った。「決して私の足を洗わないでください。」イエスは答えられた。「わたしがあなたを洗わなければ、あなたはわたしと関係ないことになります。」”

ヨハネ 13:7,8

### 3. 互いに足を洗い合いなさい

“主であり、師であるこのわたしが、あなたがたの足を洗ったのであれば、あなたがたもまた、互いに足を洗い合わなければなりません。わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするようにと、あなたがたに模範を示したのです。” ヨハネ 13:14,15

“キリストは、神の御姿であられるのに、神としてのあり方を捨てられないとは考えず、ご自分を空しくして、しもべの姿をとり、人間と同じようになられました。人としての姿をもって現れ、自らを低くして、死にまで、それも十字架の死にまで従われました。” ペリピ 2:6-8